事業所名　愛ちゃんすぽっと

支援プログラム

作成日　2024 年　12 月　16 日

法人（事業所）理念		NPO法人あいは、日常生活に必要な最低限度の行動動作の練習に特化しています。「愛ちゃんち」以外の環境下でも「できる！」を追求しています。 ★椅子に座れる。お話が聴ける。身体左右バランス。見え方。聞こえ方。手足の動き。原始反射など基本的動作にアプローチしています。 放課後等デイサービスでは、小学低学年を中心に、「集団活動」「自分と他者の気持ちの理解」と「折り合いの付け方」「立ち振る舞い」を練習します。		
支援方針		・生活に密着した生きるために必要な能力を養います。 ・専門チームによる早期発見、早期療育を行います。 ・保護者様との時間を大切にします。		
営業時間		9　時　30　分から　17　時　30　分まで	送迎実施の有無	(あり)　なし
		支 援 内 容		
本人支援	健康・生活	・健康チェック ・睡眠、食事、排泄等の基本的な生活リズムを作る ・楽しく食事ができるように、口腔機能や感覚に配慮しながら、咀嚼、嚥下、姿勢保持、自助具の活用 ・リハビリテーションの実施（身体的、精神的、社会的訓練） ・身の回りの清潔、食事、衣類の着脱、排泄等に必要な基本的技能を習得 ・さまざまな遊びを通して学習できる環境を本人にわかりやすいように環境を設定する		
	運動・感覚	・日常生活に必要な姿勢保持、上肢、下肢の運動、関節の拘縮や変形予防、筋力の維持、強化 ・歩行の安定 ・五感を刺激する遊びや運動 ・感覚統合		
	認知・行動	・五感を活用して必要な情報を得られるように支援する ・必要なメッセージを「選択」し「行動につなげる」過程の練習 ・概念の理解（物の機能、形、色、音の変化する様子、空間、時間）と動作のきっかけの練習 ・数量、形の大きさ、重さ、色の違いなどを習得 ・こだわり、偏食への支援 ・感覚や理解力の偏りやコミュニケーションが難しいところから来る行動障害の予防と適切行動への対応支援 ・視覚支援（場所、時間、活動を構造化する） ・「カイケツしたじき」を活用した算数の理解		
	言語 コミュニケーション	・具体的な体験や物事と言葉の意味を結びつける支援 ・言語の習得と自発的発声を促す支援 ・話し言葉、文字、記号を用いて相手の意図を理解する支援や自分の考えを伝えるというキャッチボールの練習 ・複数のメンバーとの関わりの中で、適切な言葉遣いや関わり方の練習 ・指差し、身振り、サイン等を活用して、状況の理解と気持ちを伝える練習 ・特性に応じた、読み書きの練習 ・コミュニケーションボードや絵カード、文字カードを用いた、状況の理解と伝える練習 ・点字、手話、音声、文字などの多様による状況の理解と伝える練習 ・ICTの活用（dropkitを活用したコミュニケーション、自立生活課題、意思表示、スケジュール等の支援）		
	人間関係 社会性	・愛着行動の形成として、人との関係性の理解、身近な人との親密な関係性を作り、それを土台として周囲の人との安定した関係を作る練習 ・模倣遊びを通じて、人の動きをマネすることで、社会や対人関係のきっかけづくり ・感覚運動遊びから象徴遊びへの移行の練習（感覚統合や運動遊びから見立て遊び、つもり遊び、ごっこ遊びへ） ・一人遊びから他児との遊びへの練習、他児への無関心から、並行遊び、スタッフが介入して一緒に遊ぶ、役割分担、ルールの練習 ・自分のできること、できないこと、自分の行動の特性を理解して、気持ちや情緒のコントロールの練習 ・集団への参加の手順とルールの理解して、集団遊びが出来る練習 ・思春期児童への支援（日常生活動作、保清、身だしなみなどの理解）		
家族支援		・困りごとなどの相談援助（個別・グループ・実際の活動場面等） ・自宅でのかかわり方等の伝達 ・きょうだい児へのサポート ・不登校支援	移行支援	・学校および児童会館等地域において、本児が同年代、異年代含めた交流が出来るよう支援 ・進級、進学等ライフステージの切り替えを見据えた支援、移行先との情報共有
地域支援・地域連携		・学校、児童会館等との支援内容の連携 ・地域での行事等へ参加し地域との関りを持つ	職員の質の向上	・内部、外部研修により療育についての研修を行う
主な行事等		・季節の行事（節分やクリスマス会等）、お誕生会		